

何故、戦犯企業と罵られてまで、韓国とのビジネスに拘泥するのか？
もう少し産業界も意地と誇りを持ってほしい！

3月1日HPで水中・水底の微細プラスチック、油分、浮泥、懸濁物を有機・無機に関係なく回収する技術を公開しました。

公開した映像だけでは納得出来ない方も多いようです。映像では表せませんが、目に見えないナノレベルの、微細プラスチック、その他の懸濁物も捉えているのです。

「水浄化」に関する技術の優劣判断は簡単に出来ます。原水の濁度、懸濁物の種類、量を先ず測定し、処理後の水質を調べれば良いのです。実験装置での浄化の動態を確認して、実用段階では「大型化」するだけの事です。

当社の、今回の新技術は、世界の水環境改善に大きく寄与する事は確実です。何処かの野球場ほどの小さな湾内か湖で「半永久的に清水を保てる技術」の公開施工を、全て手動で、一日の作業で今夏迄には行い、世界を驚かせます。

私の会社には高校・大学生のSDGsやBOPビジネス研究に人気があって、これまで500件ほど取材を受けています。国内、海外それぞれ半数ほどの割合です。

殆どの学校から、研究報告概要が送られてきます。

チームの代表、指導教官からは礼状も届きます。韓国からは有名高校5校から、資料要求と取材がありました。

韓国の5校からは報告も無く礼状も届かない。概要報告義務は取材受諾条件にしているのです。日本では京都の横文字の高校、一校が約束を破っています。

世界中でこの6校がダーティな印象です。京都の高校は、あまりにも世界を知らず、SDGsを論じるので、少し説教をしたのが気に喰わなかったのでしょう。

韓国は異常だと思う。礼儀のイロハさえ理解出来ない、教育もされていないようです。将来もノーベル賞など無理でしょう。

中国からは丁寧な礼状、高校生とは思えぬ専門的な論文が16校から届きました。北欧、英国など共同研究参加のグループも出来ました。

たまたま韓国が多かったのかもしれませんが、技術には優劣があります。POLY-GLUを軽く見下すなら、意地ででも私の技術を超してほしい！

